

白岡市協働のまちづくりモデル事業補助金実績報告書

令和 6 年 3 月 4 日

(あて先) 白岡市長

団 体 名 白岡 2 山行政区自治会

代表者氏名

代表者住所 白岡市白岡

電 話 番 号

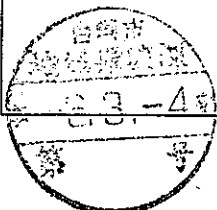
令和 5 年 6 月 29 日付け地 第 55 号で補助金の交付決定通知を受けた白岡市協働のまちづくりモデル事業が完了したので、白岡市補助金等の交付手続等に関する規則第 15 条の規定により、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1 補助金交付決定額 金 73,000 円

2 モデル事業の成果

事 業 名	イベントの旗幟を立て街の賑わいづくり ……我がふる里の白岡山区……
事業費総額	95,700 円
事業期間	令和 5 年 6 月 1 日(木)から 令和 6 年 3 月 1 日(金)まで
実施場所	白岡市白岡 山行政区地域
参加者数	55 人(役員 4+班長 51 人)
事業内容及 び事業効果	事業内容 (1)イベント実施日までの 1 週間、山自治会 51 の全班長と役員宅にのぼり旗を立て街の一体感を醸成させることで住民の結束力がより強くなる。 (2)イベント開催が周知され住民参加意識の高まりによる増加 (3)街中に賑わいを作り出し、住民が住んで良かった山区への一助とする。 (4)子供達がわが街ではイベント時期になると街中にのぼり旗がはためくとふる里情景のひとつとなる。



事業内容及 び事業効果	事業効果 (1)のぼり旗を立てたイベントはつぎの通り。 こども夏祭り(8月27日)から予定したがデザインと制作に日数を要し間に合わず9月のイベントより実施した。 ・秋の家族植栽(9月27日) ・第26回いきいきサロン「山の元気会」(10月27日) ・自主防災訓練(12月3日) (2)のぼり旗の設置については、班長宛て文書及び自治会機関紙「山のたより」に2回にわたって掲載し、目的を住民に周知した。 (3)イベントまでの1週間、計画通り55か所にのぼり旗を立てることにより、住民がイベントに関心を持ち問い合わせも出てきた。 合わせて山の広場に横断幕を掲示し何のイベントかを知らせている。 街を歩くとあちこちでのぼり旗がはためき、視覚に入り賑わいを感じさせている。 特に自主防災訓練では140人の参加者が集まり、住民参加意識に一役買っている。 (4)子供達に思いを持たせるには単年度のための3回では効果は薄く来年度も継続実施する予定である。 (5)のぼり旗はイベントが終了すると直ちに役員で撤去し、街中をスッキリさせメリハリをつけた。
------------------------	--

次ページにもご記入をお願いします。

3 収 支 決 算

(1) 収入の部

項 目	決算額(円)	内訳(算出の明細)
白岡市協働のまちづくりモデル事業補助金	73,000	のぼり旗(スタンド付き)55 基
自治会補助金	22,700	
合 計	95,700	

(2) 支出の部

項 目	決算額(円)	内訳(算出の明細)
(1) のぼり旗	45,155	55 枚×821 円/=45,155 円
(2) のぼり旗スタンド	44,385	5 セット(50 台)×7,920 円/=39,600 円 5 台×957 円/台=4,785 円
(3) のぼり旗ポール	—	八幡神社より使用済みポールを受領
(4) のぼり旗デザイン料	5,500	
(5) 手数料	660	
合 計	95,700	
(うち対象外経費の額)	(円)	

添付書類

領収書の写し

事業実施写真